



Phoenix Report

宮崎県議会議員 **たけい 俊輔**

フェニックス レポート

県政報告

第13号

発行：2010.8

ごあいさつ

愛みやざき代表 **武井 俊輔**

皆様にはいつも大変お世話になっております。「愛みやざき」は4月から1人会派になりました。

確かに議会活動としては予想以上に厳しい部分はありますが、それにも増して多くの皆様に応援のお言葉を頂き、元気いっぱい活動しております。

とは言いましても現在はほぼ終日口蹄疫に係る業務です。1人会派でも、いや1人会派だからできることもたくさんあります。その思いでしっかりと取り組んで参ります！



たけいコラム

「貫く勇氣！変えるちから。」

「愛みやざき」が一人会派になり3ヶ月が過ぎました。

議会活動や質問回数、情報獲得などについて「1人会派」としての壁を感じております。”数は力”ということを感じない日はありません。

しかし、4月以降、街頭演説やお話を伺う中で、応援して頂ける声がかかなり増えてきました。少なくとも私の選択は間違っていないかったのだ、と実感しております。

しかも、1人ということはいづれの良心に従って行動することができます。議会での発言、賛否なども1人で考えて発言することができます。口蹄疫問題への対応にしても、多数会派に負けない動きをすべく自分なりに努力して参りました。

本当に皆様に議会に送り出して頂き3年。新しい「愛みやざき」はタイトルにもしております「貫く勇氣！変えるちから。」をモットーにして、前に前に進んで参ります。

その思いで堂々と活動して参りますので、今後ともご指導よろしくお願ひ申し上げます。

6月議会の一般質問延期

6月議会について、一部会派が一般質問の開催を主張していました。私は防疫作業にあたる執行部の負担軽減が必要だと考えていますので、一貫して開会すべきではないと主張してきました。協議により、質問の延期とすることができました。できる限り県当局の負担の軽減を図りながら、今後も取り組んで参ります。



たけいと語る ティータイム

Tea Time



毎週好評開催しております。
月曜日17:30～ カリーノ1F タリーズコーヒーで開催しております。武井や県政へのご意見、ご感想などある方、ない方、お茶のみ気分でお気軽にお越しください。（公務等により変更する可能性もありますので、事務所にご連絡頂きますと幸いです。）

ミニ集会



週1回程度で開催しています。スライドを使いまして分かりやすくご説明するようにしております。また数人単位でも市内どこでもお伺いしておりますので、ぜひお気軽にお問い合わせください。なお開催予定の会場は事務所にお気軽にご連絡ください。

ツイッター

毎日書いているブログと並行して、今人気のつぶやきブログ「ツイッター」も運用しています。ご興味のある方はお気軽にフォローしてください！

twitter http://twitter.com/syunsuke_takei

カンパのお願い

会派が1名になり、共通経費がなくなったことで、事務所の運営が厳しい状況になっております。カンパへのご協力、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

たけい 俊輔 事務所

〒880-0015 宮崎県宮崎市大工3-346
TEL/FAX.0985-28-7608 E-mail : info@s-takei.jp

ご意見・ご要望等をお待ちしています！

ホームページアドレス
www.s-takei.jp

たけい 俊輔 モバイル版ホームページはコチラから ▶▶





貴く勇気！変えるちから。

愛みやざき通信

ラブ
みや

第13号

発行：2010.8

口蹄疫いままこそ県民総力戦！“絆”を大事に

4月末に口蹄疫が確認されて以降、28万頭以上が殺処分されるという現状の中、県民生活はあらゆる場面で影響を受けています。たけいの考える今後の課題について述べて参ります。

畜産再開にあたり

再開のためには何よりも「再発しない」という安心できる環境が不可欠です。そのためにも拙速にはなく、確実な対応が必要です。加熱化した堆肥の取扱いについては慎重に行う必要があります。特に牛については「セリ」に県外から安心して来て頂ける環境づくりが必要です。このように、一つひとつのことが様々な立場からどう見えるかを考えていかなければならないと考えています。



防疫作業
(撮影：宮崎県)

補償の平等、公平性

患畜確認農家とワクチン接種農家、牛と豚、10km 圏内と圏外、畜産と野菜や園芸農家などなど、あらゆるところに見解の相違や“言い分”があります。

これからそれをどう調整していくか、大変難しい問題です。おそらく誰もが納得できる円満な解決を望むのは大変難しい状況です。しかしその中で最大限の合意を図る努力、これは決して惜しんではならないと考えます。

他業種への影響

あらゆる業種に影響が出ています。発生から1カ月で3万4,000人分の宿泊・会議・宴会のキャンセルが発生、損失額は約2億6,500万円に上っております。その他、各種業界での影響が出ておりますが、税金による補償も現実的には不可能です。そこで、約21億円(7月20日現在)を超える義援金についても、私は「地域振興券」的な地域に流通を限定した形での商品券とすべきと考えます。



口蹄疫の影響を受ける繁華街(ニシタチ)

風評との戦い

「宮崎牛は置いておりません。」的な露骨な店舗は確かに少ないのですが、さしあたって流通などには深刻な影響が出ています。

宮崎県内と比べ、県外にはほとんど情報がありません。しかしこれには私たち一人ひとりでもできることがあります。県外の家族友人に宮崎の県産品の安心・安全性を口コミでお願いして頂ければありがたいと思います。

たけいの動き

現場の声を県政に

宮崎市内にある複数の発生農家の方とは電話で(訪問ができませんでした)何度も意見交換しています。現場から上がってくる声を県、宮崎市対策本部に訪問し意見交換しています。宮崎市での拡大は特に他産業への影響なども大きいので、戸敷正市長とも協議しながらまん延防止に全力で取り組みました。

口蹄疫の現状を知って頂くために

宮崎市市民活動支援センター、宮崎市倫理法人会など様々な場所で画像などを使って講演や質疑をお受けしています。先日は関西大学からもご依頼があり、高槻キャンパスでも講演して参りました。関西の皆さんに現状を知って頂くとともに、義援金についてもご協力頂きました。

防疫活動

宮崎青年会議所のメンバーとして清武町庵屋橋での防疫活動に参加しています。消毒マットによる防疫作業ですが、24時間対応ですから、徹夜の対応などにも参加しています。しかし県内には100箇所以上の防疫ポイントがあります。多くの場所で皆さんが必死に頑張っています。消毒へのご理解とご協力をお願い致します。



生目地区の防疫活動調査



宮崎市民プラザ講演(7/2)



防疫作業(清武町)

ANA、JALの航空券の取り消し手数料無料化実現

県の非常事態宣言以降、それに係るイベントの中止が相次ぎました。イベント関係者から相談を受けましたが、県が動けないとのことでしたので、航空会社と交渉を行いキャンセル料の無手数料化にご理解を頂きました。これにより大会関係者の金銭的負担が些かでも軽減できたことは意義があったと思っております。

